



朱鷺の里で 育まれ熟成される 佐渡の美酒

麦懐石の店である。農家を改修した店舗、舟板を使った卓、ランチョンマット、器、そのどれもが店主夫妻の審美眼と愛情から選ばれ、大切に扱われていることが伝わってくる。心地よい空間で味わう「せんぞうほう」(大根入りのぶっかけ蕎麦)は、風味の良い出汁と蕎麦とが引き立て合う絶品だった。

共に味わった「超真野鶴」がまたしばしうなるほどの美酒だ。日本酒度+21という超辛口でありながらふくらみもあり、無濾過生原酒ならではの

朱鷺の里で育まれた美酒

佐渡。晴れ。夕刻。この三つの条件がそろっていたら、向かうは「日本が一番夕日が見える小学校、西三川小学校」である。真野清治の丘に立つ木造校舎からは、ワイドビューで日本海が一望できる。この風光明媚な学び舎は、生徒数減少で2010年に廃校となったが、それを酒蔵へと改造し2014年に「学校蔵」として再生させたのは、真野鶴醸造元の

平島健、尾畑留美子夫妻。ここは酒蔵としてだけでなく、酒造りを学ぶ場、島内外の人たちが交流をする場としても機能しており、佐渡へと渡る人たちの数を確実に増やしている。

校庭のベンチに座り、沈む夕日が空の雲を染めていくのを眺める。なんと、美しい学校が守られたのか。……感動したら、「真野鶴」が飲みたくなった(そこ)。次に目指すのは、「茂左衛門」。手打ちの十割蕎麦と佐渡の魚料理、佐渡の酒が味わえる蕎

尾畑酒造

1892年創業。代表銘柄「真野鶴」。ほかに純米吟醸「朱鷺と暮らす」、全国新酒鑑評会、IWC2015でゴールドメダル受賞の大吟醸「万穂」等豊富なアイテムがある。米、水、人、そして佐渡の四つの宝で醸すことを意味する「四宝和醸」を理念に掲げる。

佐佐渡汽船「両津港」から車で約30分
☎0259-55-3171
※試飲・販売あり。蔵見学可。



上/佐渡金山坑道内にある酒の熟成庫入口。
右/5代目蔵元の尾畑さん。著書に「学校蔵の特別授業」(日経BP)。
左/契約農家相田さんの田んぼ。カキ殻入りのドラム缶経由で田んぼに水を入れる。

の鮮烈なうま味とキレとが共存している。これ、すごい離れワザだなあ。その感想を翌日、尾畑酒造を訪れた際に尾畑留美子さんに伝えると「胎に響くお酒なんです。お米ってこういう味なのかなと思うような」。確かに！新潟の酒は淡麗辛口、その



蕎麦 茂左衛門

東京から佐渡にUターンした店主の齋藤和郎さんが、佐渡の伝統的な建築様式の古民家で、手打ちの蕎麦と佐渡の魚料理を振る舞う。女将の佳子さんによるしつらえの数々も美しい。準備を重ねてのおもてなしとなるため、蕎麦一枚であっても要予約とのこと。

佐佐渡汽船「両津港」から車で約15分 ☎0259-67-7972



思い込みがまたも覆されていく。「新潟清酒は飲みあきのしないきれいな後口が特徴ですが、その良さを残しつつも常に進化しているんですよ」

そう笑顔で言って、留美子さんが案内してくれたのは、酒米の契約栽培農家・相田忠明さんの田んぼだった。取水口に置かれていたのは、佐渡産のカキ殻が入ったドラム缶。このドラム缶に山のミネラルを含んだ小佐渡山脈の伏流水を通すことで、海山のダブルミネラルが田んぼに流れ込み、さらに浄化作用もたらされる。

この一帯は、農地であるとともに朱鷺の住処でもある。朱鷺の住環境に配慮した循環型農業による米は、「朱鷺と暮らす郷づくり認証米」とし

て市からの認定も受けているそう。そして車は、佐渡金山へ。通年1度に保たれる金山の坑道の一部は、酒の熟成庫として使用されている。「熟成も日本酒の新しい可能性を開くもののひとつだと思います」。佐渡の水、米、人の仕事、そして時間。美酒の瓶の中には、それらすべてが溶け込んでいるのだった。

日本酒を巡る旅ぜひ訪れたい！
中越・下越地域の酒蔵撰

◎今代司酒造(新潟市)
蔵には案内人が常駐しており、酒造りはもちろん、新潟の歴史を丁寧に解説してくれる。10種類以上の純米酒がテイスティング可能。
交上越新幹線「新潟駅」より徒歩約15分
☎025-245-0325
※試飲・販売あり。蔵見学は6名様以上は要予約

◎吉乃川株式会社(長岡市)
吉乃川の敷地内にある酒蔵資料館「瓢亭」(ひさごてい)では、昔の酒造りの道具や酒造りの様子を映像で紹介。資料館限定酒の販売もある。
交JR「宮内駅」より徒歩約10分
☎090-2724-9751
※試飲・販売あり。資料館の見学は要予約、酒蔵は非公開。

矢板南産業団地 好評分譲中!!

つなく、つながる、つながっていく、栃木。

東北へ! 東京へ!
「人」と「モノ」の流れの集積地から広がる可能性!!

栃木県は年間を通じて安定した気候であり、各種交通網が整備された、「人」と「モノ」が集まるものづくり県です。東北地方はもちろん西日本も幅広くカバー可能であり、東日本のビジネス拠点として最適です。

矢板南産業団地

H29.2.26 圏央道境古河IC~つくば中央IC間開通

東京から車で約90分

東北自動車道矢板IC直結

宇都宮ICから約15分

■東北地方と首都圏を結ぶ東北自動車道の中間点、矢板IC直結、国道4号にも近接し、物流関連企業も複数立地
■2015年9月に価格改定を行い、より魅力的な分譲価格

首都圏トップクラスの優遇制度

■企業立地補助金 最大30億円

分譲価格
9,800円/㎡~11,700円/㎡
(約32,340円/坪~約38,610円/坪)

分譲に関する情報発信中

最新情報は 栃木県企業局産業団地 で 検索

栃木県企業局 ☎320-0031 栃木県宇都宮市 戸祭元町1-25
詳しくは電話・メールにてお気軽にお問い合わせください。

TEL.028-623-3818
kigyoyudo@pref.tochigi.lg.jp